

土地家屋調査士業務管理システム構築事業

土地家屋調査士法人半嶺当徹事務所（那覇市／登記・測量）

総事業費：8,117,200円(税込み)

1. 事業内容

(1)概要

①事業目的

累計1,700件超の登記・測量ノウハウが代表個人に属人化し、業務量増加に人手が追いつかない状況。基幹システムと生成AIの活用でデータを一元化・自動化し、調査士業務全体の生産性と品質を高める。

②事業概要

「**基幹システム**」(顧客・案件マスタ統合、進捗管理、会計ソフト連携による請求自動化、経営ダッシュボード)で**構造化データを一元管理**し、**生成AI**(報告書下書き・PDF自動抽出・類似案件検索・書類自動生成)で**非構造化データを処理**するハイブリッド型DXを推進

③連携ITベンダー

事業社名：ユーアンドアイ株式会社

(2)見込まれる効果

<定量効果>

内業の業務時間 52%削減／1人あたり月20～30時間削減
(事務所全体 年約960～1,440時間)／年約1,008万円相当の生産性向上

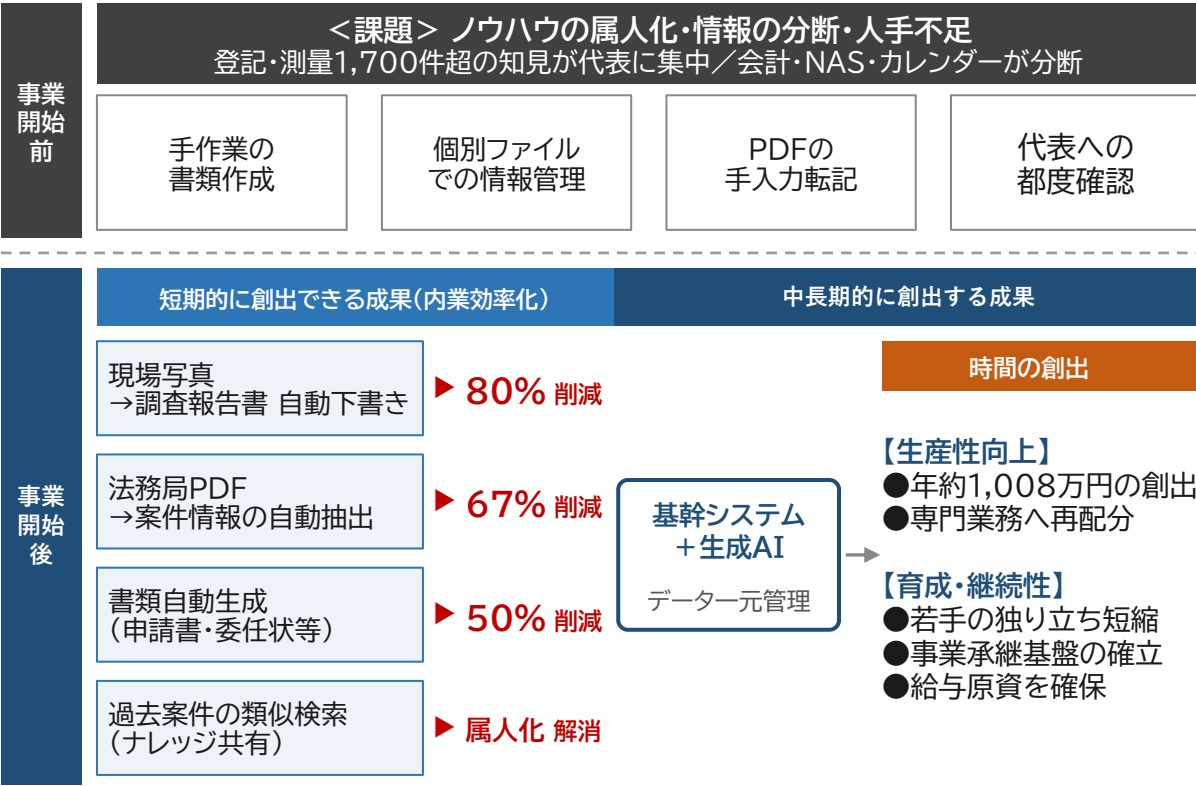
<定性効果>

属人化の解消・ミス減少・顧客対応の即時化・事業継続性の確保

(3)本事業終了後のビジネス展開や今後のDXに向けた取組

- ・短期(～3年)
創出した時間で既存スタッフの育成・仕組み化を進め、**属人化を解消**
- ・中長期(3～5年)
専門技術者の採用・新人育成と**法人顧客開拓**へ展開し、地域の社会インフラを担う。

2. 事業効果イメージ



3. 将来像

DX推進で確立した「**基幹システム + 生成AI**」基盤を起点に、2030年までの中期経営計画で**売上を約2.1倍**、1人当たり**平均給与を約1.6倍**へ拡大。**属人化を脱した組織体制**で、地域の住宅供給・不動産取引・相続手続きを支える社会インフラを担う。